

平成 23 年度「東京湾の環境と魚たち、今・昔」シンポジウム事業
第 2 弾：磯の海藻観察会

☆ 観音崎 磯の体験学習 ☆

東京湾に流入する河川の多くは、奥多摩、多摩丘陵、秩父、那須、房総の山々を源流として上流・中流・下流をながれ、やがて東京湾へと注ぎます。東京湾（海）と陸上は別々の自然ではなく、互いに密接に関係しあったひとつの自然です。このことを、東京湾唯一の自然岩礁海岸「観音崎」で体験してください。ウニ・ヒトデ・ナマコ・カニなどの海岸動物やアマモ・ヒジキ・テングサ等本物の海藻を、ありのままの東京湾を通して観察してみてください。ここが東京湾かと思うほど海は澄んでいます。

また、海やそこにすむ生物、東京湾の自然環境などについてやさしく解説いたします。

下記要領で、「磯の観察会」を開催いたしますので、是非、ご参加下さい。

記

実施予定日：5月18日（水）（潮の良い日です）

集合場所：観音崎自然博物館

アクセス：京浜急行電鉄浦賀駅より京急バス「観音崎」行き「腰越」下車、徒歩5分
（周辺地図は、別紙参照）

集合時間：午前10時（到着が早い場合は繰り上げて開始）

定員：30人から100人前後

指 導：館長石鍋壽寛・博物館研究員・学芸員3名他当博物館海洋ボランティア数名

指 導 料：磯の体験学習(春) 大人1, 700円 小人1, 300円（消費税込み）

持 ち 物：濡れてもよい運動靴（けが防止のためサンダル厳禁）・タオル・昼食・筆記用具
磯の体験学習(春) の場合には・体操着（ショートパンツ必需）

申 込 み：参加希望者は、5月15日までに添付の参加申込書を Fax でご提出下さい。

体験学習の内容（案）

	海とのふれあい体験学習 (ショートパンツ)
10:00	観音崎自然博物館着 研修室で学習内容の説明 海へ行く準備
10:30	海での体験学習 波打ちぎわや磯で海藻・海岸動物の解説。
12:00	博物館のテラスで昼食
13:00	午後の部（研修室にて） 年齢に応じて、観察した磯の生物の生態や体の仕組み・進化・環境の講義
所要時間 各約20分	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻標本作り（全員参加・標本セットは博物館で用意） ・<u>天然記念物ミヤコタナゴ、ビデオ鑑賞</u> ・<u>博物館見学（学芸員案内）</u>
<u>*14:00</u> <u>~15:00</u>	帰途出発

*学習の内容・時間、スケジュール（上記二重線を引いた部分）などは、各団体で、異なると思いますので、事前にご相談ください。

*雨天時の対応 観音崎大橋の下などでは、雨天時でも磯の生物の観察には支障がないので実施できます。ただし、台風等で高波がある場合は中止いたします。また、テラスに設置した大型海水水槽2面（3m×1m×30cm）に飼育中のウニ・ヒトデ・ナマコ・サメ・カニ・小魚などを手に触れることができます。

さらに当館館長が文化庁・環境省から委託されて研究している国の天然記念物ミヤコタナゴの繁殖行動を、ビデオでの解説と生態観察用の大水槽で見ることができます。この他当館の様々な生物飼育展示をとおして観音崎の森と海の自然が体験できます。

E-mail or Fax 送信用紙

海の森づくり推進協会平成 23 年度「東京湾の環境と魚たち、今・昔」シンポジウム事業
第 2 弾：5 月 18 日（水）磯の海藻観察会

☆ 観音崎 磯の体験学習 於観音崎自然博物館 ☆

オブショナルツアー参加申込書（1 人 1 枚）

海の森づくり推進協会
代表理事 松田恵明 殿

e-mail: shujiro.fujino@mbe.nigty.com

Fax: 045-922-3448 事務局携帯: 090-4914-2345

私は上記の「海の森づくり推進協会オブショナルツアー」に参加を申し込みます。

氏名		年齢	才
	印		
住所			
電話番号			
Fax 番号			
e-mail アドレス			
会員の種類（○印をつけて下さい）	1. 正会員		
	2. 賛助会員		
	3. ネットワーク会員		
	4. 特別賛助会員		
備考			

* これまで会員でなかった方は、自動的に「海の森づくり推進協会」のネットワーク会員となります。申し込み締切は 5 月 15 日です。